



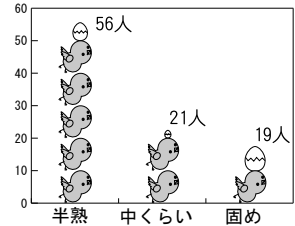
目玉焼きに何かかけてますか？

京大生は目玉焼きに何をかけるのか？ 京大生の味覚に迫ってみました。
(b & ぶっち)

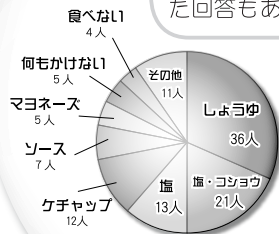
1. あなたは目玉焼きに何をかけますか？

2. 黄身と白身どちらが好きですか？

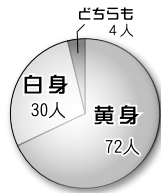
3. どのくらいの固さが好きですか？



その他の回答は、『みそ』『砂糖』などでした。中には、『しょうゆマヨネーズ』や『塩コショウ+ソース』といった回答もありました。



2と3はどちらも圧倒的な結果になりました。黄身が好きなのも白身が好きなのも、一様に半熟を好む傾向があるようです。



4. 目玉焼きを食べる頻度は？

1	食べない	12人
2	ほとんど食べない	12人
3	1ヶ月に1回程度	25人
4	2週間に1回程度	15人
5	1週間に1、2回程度	21人
6	1ヶ月に10回以上	11人

よく食べる人とあまり食べない人に二分されました。卵を買う頻度にも関係するのでしょうか。

がんばれ!! ばいとくん

第70回 高校生といっしょ♪

新幹線に乗り、一路東京を目指すばいとくん。今日は、難関大学を受ける受験生向けのイベントで、京大生代表として高校生の相談を受けるのが仕事だ。「といっても、受験なんて遠い昔の話だし、たいしたこと言えなそうだよなあ」。そんな不安を抱きながらも、高校生との出会いが楽しみなばいとくんだ。

会場に着くと、たくさんの高校生が目に入る。中には女子高生もいる。思わずじっと見ていると、その子が相談コーナーに近づいてきた。慌てて姿勢を正すばいとくん。しかしその子は隣の相談員のところへ。少しがっかりしながら、隣の

会話に耳を傾けてみる。

「模試の結果がこれだと多分難しいと思う。英語も数学ももっともっと問題にあたらないと……」。相談員の声が聞こえてくる。女子高生は少しうつむいて、悲しそうな顔をしている。「厳しいこと言うなあ。現実をつきつけることも大事かもしれないけど、僕は高校生がもっとやる気になるようなことを言うぞ!」。

そう決意したばいとくんの前に、高校生がやってきた。必死で対応する。相談者の中には、中学生や保護者の方もいた。みんな京大に対する憧れや受験への不安をたくさん抱えてやってくる。そして熱心に自分の話に耳を傾けてくれる。その心地よさを味わうばいとくん。そんな中、一際不安げに彼の前に立った高校生がいた。模試の結果を見ても、京大には程遠い……。しかし、どうしても京大に入りたい、と必死で勉強しているようだ。「先輩、こんな僕でも京大に入れますか?」。

そう聞く高校生が、昔の自分と重なった。「今はとにかく努力するしかないんだよ! 大丈夫、そうしたらきっと報われるから、頑張れ!」。思わず熱弁を振るってしまったばいとくんに、高校生は決意の表情と笑顔を見せてくれた。

「あんなアドバイスでホントに役に立ったのかなあ」。帰路につくばいとくんは、先ほどの高校生達の顔を思い出していた。「また、京大で会えるといいなあ」。

あれから半年後、高校生からのメールが届いた。

そこには……。



はみだし
すてーじ

余った単位を売買する市場が欲しい。
⇒売るんですか? 買うんですか?

(経・1 打倒武藤)
(ぜひ売って欲しい; 編)